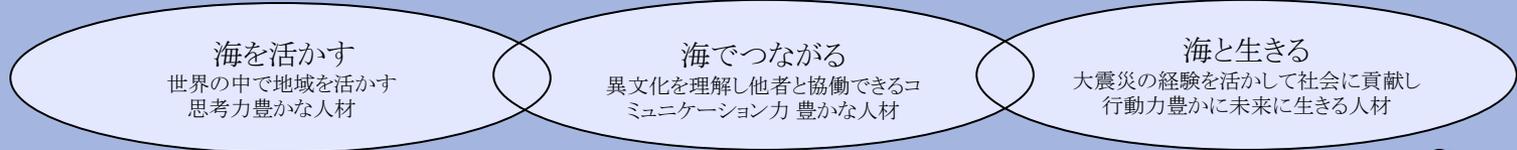


# 海を素材とするグローバルリテラシー育成 ～東日本大震災を乗り越える人材をめざして～



**目的** 海洋問題に係る協働型学習を中心とするプログラムによりグローバルリテラシーを育み、地域から世界に直接アクセスし、対話によって合意を形成し行動できるグローバルリーダーを育成する



## 協働型学習プログラム

- 海洋問題に多面的にアプローチする協働型の探究的な学習プログラム
    - ・課題研究を中心とするすべての教科学習
    - ・課題研究…5つの研究領域「海と防災」「海と産業」「海と人間」「海の文化」「三陸の自然」
- |   |  |  |
|---|--|--|
| <b>1 学年「地域社会研究」</b><br>・科学的探究の手法の習得<br>・地域課題の理解 | <b>2 学年「課題研究Ⅰ」</b><br>・科学的探究活動<br>・海外研修(台湾研修)<br>・和文での論文作成 | <b>3 学年「課題研究Ⅱ」</b><br>・課題研究Ⅰを深化・発展<br>・科学的探究活動を深化・発展<br>・英語での口頭発表、論文作成 |
|---|--|--|

## 東日本大震災復興プログラム

- 大震災の経験を素材としてスケールの大きな復興の担い手を育成するプログラム
  - ・震災・防災学習…自衛隊と連携したアクティブラーニング型防災学習、震災防災の研究結果の発信
  - ・地方創生につながる学習…地域の自治体・復興支援NPO等との連携
  - ・志教育…社会の中で、自己を活かす生き方を探究する進路学習

## スモールステップ・アプローチ

- 目標資質・能力を細分化・構造化してスモールステップで養成する手法
  - ・活動ごと・学年ごとに指導観点・評価基準を明確化し、指導と評価を一体化
  - ・英語教育の推進(授業改善、英語コンテスト・GTEC活用・学習カンセツ)

## ダイレクターニング・アプローチ

- 「本物」と接する活動で生徒の意欲を喚起し感性を磨く手法
  - ・最先端研究者による特別講義、フィールドワークで「本物」との出会いを実現
  - ・海外研修(台湾研修)や国内外交流活動

## 教員専門性開発アプローチ

- 学習指導法・評価法等の研究・開発・実践
  - ・らせん型教員研修システムの構築
  - ・アクティブラーニング型授業法や問題解決型学習法、学習の習慣化指導の研究

**グローバルリテラシー**

多様性・協働性・行動力  
コミュニケーション力  
思考力

**【連携】**  
気仙沼市 気仙沼市教委  
市内小中学校 地区内高校  
SGH・SSH指定校(若狭高校等)

**【連携大学】** 東北大、宮城教育大、宮城大、東北工業大、東京大学、東京海洋大、アジア太平洋大学  
**【海外連携】** 成功大学、国立台南高級海事水産職業学校など

**【海外研修】**  
台湾

**【海外交流・短期留学】**  
台湾、米国ホームレスマンズスクール  
ドイツなど  
在日留学生との交流

**【協力】**  
気仙沼市内企業・NPO  
自衛隊宮城地方協力本部

**【評価】**  
SGH運営指導委員会  
宮城県教育委員会